



# 遊牧民の音楽を楽しむ

—モンゴルの馬頭琴とカザフのドンブラ—

## 2011年 2月 12日(土)

### 武蔵野公会堂

(吉祥寺駅公園口から徒歩2分)

開場：18:30

開演：19:00~20:30

定員：350席

参加費：大人 1,500円

(事前予約 1,300円)

中学生 1,000円

小学生以下無料 ※但し、保護者の同伴が必要です



◀ 事前予約をいただいた方にはマニ車携帯ストラップをプレゼント

遊牧文化の真髄は、口承文芸にあります。

それは、いつでもどこでも、その場に併せて生まれ、変化し、そして、後に残りません。常に生み出せるから、残さなくて良いと遊牧民は考えます。

生活の中で出会う様々な喜怒哀楽、絶えず変化する自然環境、その全てが、そんな遊牧の文化をはぐくんできました。

歌や演奏の舞台はいつも自然の中にもありました。

人々はその恩恵の元、謙虚な暮らしを営み、天に祈りを捧げてきたのです。

そんな遊牧民の本物の演奏と歌、語りを

生で聴ける数少ない機会をお楽しみください。

西村幹也

裏面もぜひご覧下さい

馬頭琴奏者、歌手 ドルジパラム

ドンドゴビ県デレン郡出身。現在同県ウルジート郡在住。独学で馬頭琴を習得し、モンゴルの全国芸術コンクール馬頭琴部門で金メダルを6度獲得。馬頭琴演奏者と歌手というように役割分担されていく中、民謡、賛歌、物語を弾き語りできる希有な演奏者。現在は郡の幼稚園で子供たちに音楽を教えている。

ドンブラ奏者、歌手 リヤス・クグルシン

バヤンウルギー県アルタイ郡出身。現在同県ウルギー市在住。幼い頃、ドンブラを弾き歌を歌う父親の傍らでドンブラ演奏を習得。その後、地方の年長者からその場所に伝わる楽曲や物語を学ぶ。ウランバートルで行われた音楽祭では文化功労者勲章を受勲。現在は病院に勤めながら様々な場所で演奏活動を行う。





バヤンウルギー・冬 (2008)

同時開催

# 西村幹也 モンゴル写真展

NPO 法人しゃがぁ代表・西村氏が長年モンゴルのフィールドワークで撮りためた、人々や動物たちの躍動感あふれる写真展示会も開催します。

開催時間：15:00~21:30

入場無料

民族衣装の試着や、  
民芸品の展示コーナーもあります。  
(写真はイメージです)



バヤンゴビ県ウルジート・夏 (2008)



フブスグル北西部タイガ地域・秋 (2009)



バヤンゴビ県ウルジート・夏 (2009)

## 西村幹也

「NPO 法人北方アジア文化交流センター・しゃがぁ」代表。文化人類学の知識を礎に少数民族が暮らすモンゴル奥地までをフィールドワークの対象とし、その経験を情報誌やコンサート活動、写真展など様々な媒体で発信し続けている。

**KAZE** 株式会社  
風の旅行社

主催：株式会社 風の旅行社

企画・後援：NPO 法人 北方アジア文化交流センター・しゃがぁ

チケット予約・お問い合わせ：株式会社 風の旅行社 TEL:0120-987-553 FAX:03-3228-5174

E-mail: info@kaze-travel.co.jp ※詳しくは風の旅行社の専用ページをご覧ください。

<http://www.kaze-travel.co.jp/ev-mongol110212.html>

